

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和6年9月2日

施設名	青少年体育館	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	--------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)高知県青年会館	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町八田1767		
業務内容	・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <令和5年度主催事業> ・小学生スポーツ教室 ・体力づくり教室 ・小学生バドミントン教室 ・青少年体育館スポーツ交流会 ・キンボール教室 ・第26回小学生ドッジボール大会 ・初心者トレーニング講習会 ・青年団連携事業 ・救急法講習会		
施設内容	青少年の健全育成及び県民の健康増進並びに体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供することを目的としている。 利用開始日：平成3年12月1日 建築物：鉄筋コンクリート一部2階 施設概要： 1階アリーナ 1,728㎡ バスケットボール2面 バレーボール3面 バドミントン10面 卓球15台 ハンドボール1面 テニス3面 トレーニング室 144㎡ 会議室72㎡×2室 更衣室・シャワー室 2階観覧席 1,500席		
職員体制	職員：館長1名 館長補佐1名 副館長1名 指導員4名 <u>合計：7名</u> ※館長・館長補佐は高知青少年の家と兼務		

2 収支の状況

(単位：円)

		R04年度(決算)	R05年度(決算)	R06年度(予算)
収入	県支出金	37,352,000	41,728,000	41,332,000
	事業費収入	364,915	433,814	450,000
	収入計	37,716,915	42,161,814	41,782,000
支出	事業費	462,567	525,206	694,000
	管理運営費	13,554,007	16,278,382	17,710,000
	人件費	19,935,403	20,196,070	19,580,000
	消費税	3,763,702	4,162,174	3,798,000
	支出計	37,715,679	41,161,832	41,782,000
使用料収入		4,614,010	4,661,560	4,423,000

3 利用実績

(1)利用団体数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均
利用者数	60,991	39,169	50,275	58,212	65,160	54,761
利用団体数	1,640	1,595	1,768	1,897	1,942	1,768

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	【評価】 ・利用困難な場合があるなど申請が多く、十分に組み合わせている。 ・夜間利用者やトレーニングセンター利用者も引き続き増加している。 ・アクセスの良さを活かし、充実した施設をフル活用することで、青少年から地域住民、障害のある方に至るまでの幅広い利用者層を取り込み、着実に利用拡大を図っている。 ・関係の深い学校団体等の広報に注力し、そのネットワークも活用し確実に利用者を確保している。 【意見】 ・平日の午前中の利用者をどのように増やすかを検討して欲しい。 ・体育館の利用申請をオンライン上でできるようにして欲しい。貸し出し希望状況がホームページ上で把握することができ、利用申請も申請書を紙で提出するだけでなく、オンライン上で手続きができるよう求める。貸し出し希望状況がホームページ上で分かるようにしている施設で参考になるのは「県立ふくし交流プラザ」の貸し会議室のページ。
②利用者へのサービス向上のための改善策	【評価】 ・アンケートや意見箱を設置し、利用者のニーズの把握を行っている。 ・スポーツ関係団体等との意見交換をしている。 ・体育施設であることを踏まえ、整理整頓、清掃等安全面に十分留意している。 【意見】 ・体育館の空き状況をweb上で確認できるようなシステムを検討する等、引き続きwebの改善に取り組んで欲しい。 ・利用者数や施設規模等に比して職員数が十分とは思われないことから、利用者サービス向上への工夫と利用者との一層のコミュニケーションをお願いしたい。

③施設の運営について	【評価】 ・環境美化や器具点検は怠りなく進めている。 ・利用者が使い勝手の良い器具配置にも努めている。 ・ボランティアの協力も得て、取り組むことができています。 ・少人数の職員で各業務に取り組ができています。 ・利用者の安全・衛生確保に組織的に取り組んでいる。 ・高知青少年の家との連携により、運営の効率化を図っている。 【意見】 ・限られた職員数で、今後増加が予想される利用者対応や施設・設備の安全をどのように確保するか今後検討が必要であると思われる。 ・施設運営へのボランティアの参画を検討願いたい。 ・障害者スポーツ等、多様な利用者への一層の対応を検討願いたい。 ・体育館内で事故が発生した際の対応については定期的な訓練を継続して欲しい。どの時間帯に事故が起きても初期対応や必要な処置ができる施設となることが求められる。
④利用実績	【評価】 ・令和5年度の利用実績は、利用者数65,160人(1.12倍)、利用団体数1,942団体(1.02倍)と”コロナ禍”前の令和元年度を超える実績となっており、順調に利用者を伸ばしている。※()内は令和4年度比 ・平日・土日も含め、稼働率はかなり高い。
⑤収支の状況	【評価】 ・利用実績に対し、予算内で抑えられている。 ・利用者の増加に伴い、支出の増加があったが、適正な範囲と考えられる。 【意見】 ・令和5年度決算が前年度より増額となっているが、令和6年度予算は減額となっている。引き続き管理運営費等の削減と事業の効率化が求められる。
総合評価	【評価】 ・立地条件や充実した施設・設備を活かし、青少年の活用充実に努めており、年々利用者増加を達成しているが、限られた人数で支障なく施設運営に取り組んでいる。 ・管理者の工夫と地道な取組により、予算内の運営に努めている。 【意見】 ・申込方法(ネット等での申請)を工夫し、もっと利用者の利便性を上げる工夫が必要。 ・増加が見込まれる利用者対応のため、限られた要因で対応すべく業務の効率化やDX化の一層の進展が望まれる。 ・管理運営費の支出の抑制をどのように対応するか検討が必要。 ・施設の特性上、引き続き安全管理には十分留意いただきたい。

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。